

平成21年度第16回 公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：平成22年3月21日（月）午前11時～11時30分

場 所：公立大学法人熊本県立大学大会議室

出席：学長	米澤 和彦
副学長	古賀 実
事務局長	富永 安昭
文学部長	三木 悦三
総合管理学部長	松岡 泰
地域連携センター長	篠原 亮太
学術情報センター長	山田 俊
文学研究科長	半藤 英明
熊本県公立高等学校長会会長	石井 博憲
熊本近代文学館館長	河原畑 廣
欠席：環境共生学部長	大和田 紘一
和洋女子大学学長	坂本 元子

事務局：三角事務局次長、井上学生サービス担当次長兼教務入試課長、教務入試課林田教務班長、教務入試課安達入試班長、教務入試課澤田参事

1 開会（進行：三角次長）

2 学長挨拶

3 議事（議長：米澤学長）

（1）審議事項

① 平成22年度入学者選抜（後期日程）の合格者決定について

事務局教務入試課から、平成22年度入学者選抜（後期日程）の合格者決定について、資料1に基づき、「一般選抜後期日程を3月12日に実施した。当日はインフルエンザ等による追試験希望者がなく本試験のみで終了した。募集人員は全体で146名、3月19日各学部において合否判定に係る教授会を開催していただき、判定結果を得た。志願者数は1,349名、受験者数749名。後期試験の場合、前期日程の合格者が受験をしている場合がある。これについては大学入試センターを通じて全国の国公立大学間で情報交換を行っているが、そのなかで英語英米文学科を受験した者で、一人本学の前期日程試験に合格し入学手続きを完了している者がおり判定対象から除外している。」と説明があった。

続いて、文学部三木文学部長から、「文学部日本語日本文学科は、10名に対して119名が志願し、55名が受験した。16位同点2名まで、得点の上位17名を合格としたい。文学部英語英米文学科は、募集人員18名に対して、177名が志願し、85名が受験した。昨年度辞退者が多かったため、26位同点2名まで、得点の上位27名を合格としたい。」との説明があった。

続いて、環境共生学部古賀副学長から、「環境共生学部環境資源学科は、募集人員8名に対して、124名が志願し、64名が受験した。得点の上位9名までを合格としたい。環境共生学部居住環境学科は、募集人員12名に対して、49名が志願し、16名が受験した。得点の上位12名までを合格としたい。環境共生学部食健康科学科は、募集人員8名に対し、152名が志願し、75名が受験した。得点の上位9名までを合格としたい。」との説明があった。

続いて、総合管理学部松岡学部長から、「総合管理学部総合管理学科A方式は、募集人員40名に対して、266名が志願し、152名が受験した。得点の上位52名までを合格としたい。総合管理学部総合管理学科B方式は、募集人員50名に対して、462名が志願し、302名が受験した。得点の上位64名までを合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

事務局教務入試課から、「本日午後1時半から合格発表を行い、3月23日から27日(土)まで入学手続きを行う。一般選抜後期日程試験の入学手続き期間が終了した時点で各選抜区分に欠員が生じている場合は、前期日程の場合と同様に3月28日(日)午前8時から、追加合格の手続きを行い、4月以降の最初の本会議で報告するのでご了承いただきたい。」との説明があった。

教育研究会議として、追加合格手続きについて了承した。

事務局教務入試課から、資料1に基づき、平成22年度一般選抜(後期日程)の特徴及び予想される充足率について、男子の割合の増加や、県内生が昨年度75%だったが、5ポイント減って70%になっていることなどの説明があった。また、一般選抜前期日程の合格手続者について、日本語日本文学科が、募集人員30名に対し29名であったため、1名を追加合格とすること、入学者数は全体として定員の110%以内の見込みであり、適正な管理と言えるとの説明があった。

4 その他

○石井委員から退任の挨拶

5 閉会

○ 次回日程 平成22年度第1回の定例会議 平成22年4月19日(月)午後2時半～